



2023年11月14日

各位

上場会社名 人・夢・技術グループ株式会社
 代表者 代表取締役社長 永治 泰司
 (コード番号9248、東証プライム)
 問合せ先 常務取締役 塩釜 浩之
 経営企画担当
 (TEL 03-3639-3317)

通期連結業績予想と実績値との差異 及び 剰余金の配当に関するお知らせ

2023年11月14日開催の取締役会において、以下の通り、2022年11月14日に公表いたしました2023年9月期(2022年10月1日～2023年9月30日)の連結業績予想と本日公表の実績値との差異、および剰余金の配当について決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、剰余金の配当については、2023年12月22日開催予定の定時株主総会の決議を経たうえで実施する予定です。

記

●業績予想と実績値の差異について

2023年9月期通期連結業績予想と実績値の差異(2022年10月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,500	2,400	2,450	1,200	134.73
実績値(B)	39,812	2,860	3,200	1,203	134.74
増減額(B-A)	-1,687	460	750	3	
増減率(%)	-4.1%	19.2%	30.6%	0.3%	

通期連結業績予想と実績値の差異の理由

売上高につきましては、主に国土交通省、民間案件の発注の時期ずれにより、前回公表した予想を下回ることとなりました。営業利益につきましては、これまで取り組んでまいりましたIT技術の導入など業務効率化による影響、コストコントロールにより、前回公表した予想を上回ることとなりました。また、経常利益につきましては、営業利益の増加に加え、一過性利益323百万円(受取補償金209百万円、受取保険金48百万円、為替差益42百万円、補助金収入23百万円)の計上により、前回公表した予想を上回ることとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益が増加する一方、本日開示の「特別損失の計上に関するお知らせ」の通り、特別損失として738百万円を計上したものの、前回公表した予想を上回ることとなりました。

●剰余金の配当について

	決定額	直近の配当予想額 (2023年6月26日)	前期実績
基準日	2023年9月30日	同左	2022年9月30日
一株当たり配当金	70円 (普通配当 70円)	60円 (普通配当 60円)	66円 (普通配当 66円)
配当金総額	645百万円	—	612百万円
効力発生日	2023年12月25日	—	2022年12月26日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

理由

当社はこれまでの株式会社長大の中期経営計画、長期ビジョンを踏襲し、2023年6月26日に公表した通り、1株当たり配当額60円と、配当性向35%に基づく配当額の高い方を目安として、2019年8月22日に公表した「長期経営ビジョン2030」の最終年となる2031年までの間、より安定的な配当を行うことを基本方針としております。

当期においては、前記の通り、特別損失として738百万円を計上しておりますが、本件はあくまでも一過性のものであることから、配当については継続的かつ安定的に行うとの趣旨を鑑み、前回公表の1株当たり60円から10円増配し、一株当たりの年間配当金を70円といたします。

引き続き、「今後の成長投資」と「株主還元の強化」の両立を図って参ります。

以上